

資料1

評価項目	1 機関の運営方針・研究推進計画に関すること
当センターの状況	<p>(1) 県の政策・施策推進と業務運営方針について 本県では、平成25年度を「復興加速年」と位置付け大震災津波からの復興とその先にある「希望郷いわて」の実現に向けた取組を進めている。当センターでは、組織の役割や取り巻く環境の変化を見直して毎年度の業務方針に反映しており、東日本大震災津波からの復興の推進や原発放射線測定に関する業務を優先し、次の業務に重点的に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 健康、環境に関する危機管理への迅速・的確な対応 ② 県民の健康と環境を守るための試験検査・監視測定の実施 ③ 本庁、振興局との連携による行政課題に対応した調査研究の実施 ④ 保有する資源やデータを活用した技術支援、情報発信、研修指導の実施 <p>(2) 県の政策・施策と研究推進計画について いわて県民計画の「岩手の未来をつくる7つの政策」のうち、当センターの役割に関わる「共に生きるいわて」、「安心して心豊かに暮らせるいわて」及び「環境王国いわて」の3つの政策の実現に寄与する試験研究を行っている。研究と県施策の関連付けについては、新規研究計画ヒアリング時に確認及び検討を行っている。</p> <p>(3) 研究への県民、企業等のニーズの反映状況について センター研究推進実施要領に基づき、行政関係には文書で、県民へはホームページにより毎年研究課題の公募を行い、県民ニーズの把握等に努めている。平成25年度の要望からは、3件を基礎研究として取り組んでいる。</p>
評価結果/評価の視点	<p>○総合評価 A 適当(6人)・B 要改善(0人)・C 不適当(0人) ○評価コメント</p> <p>(1) 県の政策・施策推進と業務運営方針の整合性、妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の諸課題に対して適切に運営方針が設定されている。 ・県の政策等との整合性があり妥当である ・県の政策施策に沿って適切な業務運営方針であると評価する。 <p>(2) 県の政策・施策と研究推進計画の整合性、妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進計画は適切に設定されている。 ・県の政策等との整合性があり妥当である ・県の政策施策に沿った適切な研究推進計画であると評価する。 <p>(3) 研究への県民、企業等のニーズの反映状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの反映に適切に取り組んでいると認める。 ・県民等のニーズに対応した研究推進計画となっている ・県民・企業等のニーズを反映した研究推進計画であると評価する。
センターの対応方針	<p>当センターの業務運営並びに研究推進については、今後とも大震災津波からの復興とその先にある「希望郷いわて」の実現に寄与するよう進めていきます。</p> <p>また、平成26年度の保健福祉部から環境生活部への所管換えを契機に、「県民本位」を基本方針に改革を進めていきます。</p> <p>ニーズの反映については、研究課題として設定しなかったテーマや事案でも、シンクタンクとして支援し、評価するとともに、翌年度以降も地域のニーズとして検討していきます。</p>